

《令和3年度 自己評価結果 公表シート》

学校法人長生学園 認定こども園 明幸幼稚園すまいる保育園

《評価段階 4…よくできている 3…まあまあできている 2…あまりできていない 1…全くできていない》

【保育園】

評価項目	内容	評価値	
(1) 保育理念	1 あなたは一人一人のありのままの姿を受け入れることが出来ますか	3.8	
	2 適切でない対応をしている他の職員の行為を目にした時、助言が出来ますか	2.8	
	3 子どもからの様々なサインを見逃さず子どもの求めている援助が出来ましたか	3.5	
	4 子どもたちの中に人を信頼する気持ちが育つような関わりをしていますか	3.5	
	5 あなたは子どもが安心して自分をゆだねられる存在となっていますか	3.5	
	6 子ども一人一人の発達状況と子どものおかれている事情を理解し、保育を行っていますか	3.8	
(2) 子どもの発達援助	ア 養護	1 保育の主役は子どもであることを常に心に留めていますか	3.9
		2 子どもの要求をその都度受け止めて対応していますか	3.4
		3 子どもに分かりやすい言葉づかいで、穏やかに話しをしていますか	3.5
		4 登園時に泣く子供に対して、放っておいたり、叱ったりするのではなく、子どもの状況に応じて、抱いたり、やさしく声をかけたりしていますか	3.9
		5 自分の気持ちをうまく表現できない子どもの心情を汲み取ろうとしていますか	3.7
		6 子どもの生活を24時間の連続したサイクルでとらえ、一日の生活がリズムよく、また無理なく過ごせるように配慮していますか	3.5
		7 子どもがのびのびとからだを動かせるよう、時間、場所、遊びを確保していますか	3.3
	イ 健康	1 外遊びや散歩など戸外で遊ぶ機会を多く取り入れていますか	3.7
		2 保育士自身が積極的に子どもと関わり遊んでいますか	3.6
		3 おもらしをしたときに、その都度やさしく対応し、子どもの心を傷つけないよう配慮していますか	3.9
		4 午睡時には、子守歌を歌ったり、背中を軽くたたくなど、安心して心地よい眠りにつけるように配慮していますか	4.0
		5 衣服の脱ぎ着に際して、せかしたり、着せてしまったりしないで、自分でやろうとする子どもの気持ちを大切にしていますか	3.5
		6 子どもの病気やアレルギーについて、確認・対応を行っていますか	3.6
(2) 子どもの発達援助	ウ 食事	1 子どもが落ち着いて食事を楽しめるよう工夫していますか	3.5
		2 食事の前の手洗いを励行するなど、清潔習慣が身に付くよう援助していますか	3.3
		3 子どもが残さず食べることを強制したり、偏食を直そうと叱ったりしていませんか	3.3
	エ 人間関係	1 子どもが保育士や友だちと共に過ごすことを楽しめるような配慮をしていますか	3.5
		2 園生活の中で、自分でできたという充実感を味わえるような体験を取り入れていますか	3.5
		3 つまづきや葛藤、けんかななどの経験が成長に欠かせないものにとらえ適切に対応していますか	3.3
		4 異年齢での子どもの交流が行われていますか	3.0
		5 子どもの思ったことを友だちに伝え、相手の思っていることにも気づくように援助していますか	3.3
		6 自分が周りの人から大切にされて育ってきたことを知る機会をつくっていますか	2.8
		7 保育士の言動の一つ一つを、子どもはモデルとして学んでいることを知っていますか	3.8

評価項目		内容	評価値	
		8 子どもは一個人の人格を持った存在として謙虚に接していますか	3.9	
(2) 子どもの発達援助	カ 言葉	1 一人一人の子どもをよく観察し、その場に適した言葉がけを心がけていますか	3.3	
		2 正しい言葉遣いや声の大きさに配慮して子どもに話しかけていますか	3.3	
		3 子どもがしたいこと、してほしいことを話しているとき、最後までゆっくりと聞くよう努めていますか	3.3	
		4 会話を通して気持ちが通じ合う喜びを味わえるように配慮していますか	3.6	
	キ 表現	1 様々な音、色、形、手触り、動き、味、香りに気付いたり、心地よさを感じる機会をつくっていますか	3.1	
		2 道具の正しい使い方を一人一人丁寧に教えたり、見守ったりしていますか	3.1	
		3 みんなで一緒に表現することの楽しさを味わえるようにしていますか	3.1	
		4 水、砂、土、紙、粘土など自然の素材に触れて楽しむ機会を多く取り入れていますか	3.1	
		5 音楽に合わせて歌ったり踊ったりして楽しめるよう援助していますか	3.8	
	ク 乳児保育	1 おむつ交換時には、やさしく声をかけたり、スキンシップを行っていますか	3.8	
		2 外気に触れたり、戸外遊びを行う機会を設けていますか	3.8	
		3 喃語には、ゆったりとやさしく応えたり、ふれあい遊びを行っていますか	3.8	
		3 たて抱き、腹這いなど子どもが様々な姿勢をとれるようにしていますか	4.0	
		4 寝返りのできない乳児を寝かせる場合には安全に配慮し、呼吸と体位のチェックを行い、記録をしていますか	4.0	
		5 事故予防に努めた保育を行っていますか（おんぶ、抱っこ、乳母車、シャワー、オムツ交換時など）	4.0	
		6 継続的に同じ保育士とかかわりが持てるように配慮していますか	3.8	
	7 離乳食については、家庭と連携を取りながら、一人一人の子どもの状況に配慮して行っていますか	4.0		
	(2) 子どもの発達援助	ケ 長時間保育延長保育	1 子どもの状況について、職員間の引継ぎを適切に行っていますか	3.8
			2 お迎えが遅くなった子の不安な気持ちを汲んで対応をしていますか	3.9
			3好きなことをしてくつろげる空間や遊具を用意していますか	3.3
4 一人一人の子どもの要求に応じて、抱いたり、声をかけるなど、ゆっくりと接していますか			3.8	
5 家庭的な雰囲気が感じられるように配慮をしています			3.8	
6 異年齢の子ども同士で遊べるように配慮されていますか			3.4	
(3) 保護者	ア 子どもの成長の喜びを共有	1 子育てのパートナーとして「保護者の子育てを支援する」という役割を常に意識していますか	3.4	
		2 保護者の子育てに対する不安や悩みを受け止め、適切に助言、援助していますか	2.8	
		3 送迎時の身支度をさりげなく助けながら言葉を交わすようにしていますか	3.4	
		4 連絡帳やクラスノートなどで日常の子どもの様子を伝え合っていますか	3.8	
		5 保護者に参加してもらえるような行事については事前にその趣旨を説明し、理解や協力を要請していますか	3.5	
		6 保護者が積極的に行事に参加するように働きかけ、子どもの成長や子育ての喜びが共有できるよう配慮していますか	3.5	
		7 一人一人の保護者と必要に応じて個別に面談を行っていますか	3.0	
		8 相談内容など、人に聞かれないで相談できるように配慮していますか	3.5	

評価項目		内容	評価値
に 対する 支援	イ 保育 内容の 説明応 答責 任・個 別支援	1 子どもの医療や保健に関する問題について、連絡・相談できる場所を知っていますか	3.4
		2 保護者の考えや提案を積極的に聞き、保育に活かしていますか	3.0
		3 虐待を疑われる子どもの情報を得た時、関係機関に照会・通告を行う義務があることを知っていますか	3.9
		4 保護者からの相談内容などを自分一人の問題にしないで、園長・主幹などに相談していますか	4.0
		5 子どもの体調が良くないときなどに保護者に電話する際、細かい配慮をしていますか	4.0
		6 保護者から突然お迎えが遅くなると連絡があった時など、快く対応するように努めていますか	4.0
ウ 関連 機関と の連携		1 地域と良好な関係を築けるよう、挨拶をしたり、行事に誘ったりして、地域の保護者が気軽に保育園を利用できるようにしていますか	3.0
		2 苦情解決の仕組みを知っていますか	2.9
(4) 保育を 支える 組織的 基盤	ア 健康及 び安全 の 実施体 制	1 子どもの与薬を依頼されたとき、「園医の手引き」や園の対応マニュアルを理解して対応していますか	3.8
		2 子どもの体調不良や怪我などの情報を職員間で共有していますか	4.0
		3 保育室の換気や温度・湿度に配慮して保育していますか	3.9
		4 玩具・遊具については必要に応じて消毒したり衛生面に配慮し、破損の有無を毎日確認していますか	3.8
		5 施設、設備の安全点検を点検マニュアルに沿って行い、不具合の箇所は必要な対策をとっていますか	3.8
		6 子どもが危険な場所や遊びがわかり、安全に気をつけて行動するように働きかけていますか	3.8
		7 交通安全の習慣が子どもの身に付くように日ごろから指導をしていますか	3.5
		8 子どもが十分に睡眠をとるなど健康な生活リズムを身につけるように保護者への啓発に努めていますか	2.5
		9 不審者が侵入した時自分は何のように対応するかわかっていますか	3.5
イ 保育 の計画 と保育 内容の 自己評 価		1 子どもを主体とした視点で保育をしていますか	3.4
		2 保育過程や保育計画のねらい・内容を職員や保護者に分かるように伝えることが出来ますか	3.0
		3 年度の目標を明確にして保育していますか	3.2
		4 保育計画が適切であったか振り返りを行い、改善していますか	3.6
		5 職員会議などで、保育の質の向上につながる発言をしていますか。また、他の職員の発言や意見から気付いたり学んだりすることがありますか	3.5
		6 自分の保育実践について同僚や園長と保育を語る機会を作っていますか	3.3
		7 あなたの役割、フリー、主幹の役割を理解していますか	3.7
		8 新採用の職員、あるいは後輩に配慮し、温かい人間関係をつくるようにしていますか	4.0
		9 クラス職員連携、全体の連携を意識して、あなたは具体的な行動をとっていますか	3.4
(4) 保育を 支える 組織的 基盤	ウ 職員の質 の向上	1 保育関係の情報を日頃から収集するように心がけていますか	3.1
		2 保育に関する専門書を読み、保育に関わる知識や技術の向上に努めていますか	2.9
		3 あなたは子どもの最善の利益を尊重した保育をしていますか	3.6
		4 園の内外における研修・研究活動に目的をもって積極的に参加していますか	3.9
		5 保育士の人間性を豊かにするために自己研鑽をしていますか	3.1

評価項目	内容	評価値
6	個人情報の管理を適切に行っていますか	4.0

<考察として>

昨年の反省を活かし、園内研修など話し合いや職員間で話し合いをし保育の振り返りを行ってきたため全体的に昨年より個々の評価が上がってきている。

(1) 保育理念について

子どもたち一人ひとりのありのままの姿を受け入れ個性を大切に保育するよう心がけてきた。愛着形成に努め自己肯定感が持てるように応答的な関わり方を意識して保育に努めた。チーム保育として職員間で互いに保育について話し合う機会をもう少し多く持てるようにしていきたい。

(2) 子どもの発達について

養護を基本として一人ひとりに合わせて子育てし様々な経験ができるよう工夫してきたがマンネリ化したり保育教諭発信の遊びが多くなっていた部分もあるので、さらに工夫していきたい。

(3) 保護者に対する支援について

コロナ禍ということもあり制限がある中でも昨年よりは参観や誕生会などの保護者参加の行事を増やし様子をみていただく機会を増やした。乳幼児期という大切な時期の子育てについての悩み等を共通理解しながら、さらに楽しんで子育てできるよう架け橋になれるよう努力していきたい。

(4) 保育を支える組織基盤について

どの職員にもねらいや保育過程がわかるように振り返りを行って毎日改善点を共通理解してきたが、さらに改善できるところをしっかりと実行していきたい。コロナ禍ではあるがZOOMでの研修を行い、日々の保育について反省点を見つけ、実践できるように努めてきた。